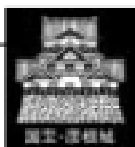


第109号

# ひこね 市議会だより



**平成22年度一般会計予算 361億円 可決**  
 特別会計 216億3,140万6千円・企業会計 136億5,315万円



写真は、彦根城博物館能舞台で開催された井伊直弼と開国150年祭開幕式典の様様

## 3月定例会のあらまし

3月定例会は、3月1日から23日までの23日間の会期で開催し、提出された議案審議のほか、各会派の代表者および個人からの質疑、一般質問を行いました。

今期定例会に提出された市長提出議案は43件で、いずれも原案のとおり可決・同意しました。また、議員提出議案は意見書案の2件で、いずれも原案のとおり可決しました。

請願2件については、1件は採択、残り1件は不採択としました。

3月定例会の結果	2~4
予算特別委員会の審査状況	5
常任委員会の審査状況	6
代表質問	7~10
個人質問	11~14
ほかにもこんなことを質問しました	14
議会改革特別委員会中間報告	15
環境対策特別委員会報告	15
子ども議会・議場コンサートを開催しました	16~17
行政視察報告	18

## 3月定例会

当初予算関係 = いずれも可決

件名	概要
平成22年度(2010年度)彦根市一般会計予算	予算額:361億円 ※対前年度比3.2%増
平成22年度(2010年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算	予算額:88億922万9千円 ※対前年度比0.6%減
平成22年度(2010年度)彦根市下水道事業特別会計予算	予算額:57億6,410万3千円 ※対前年度比1.4%減
平成22年度(2010年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計予算	予算額:5,970万円 ※対前年度比5.3%増
平成22年度(2010年度)彦根市老人保健事業特別会計予算	予算額:119万6千円 ※対前年度比95.6%減
平成22年度(2010年度)彦根市農業集落排水事業特別会計予算	予算額:3億1,289万2千円 ※対前年度比6.2%増
平成22年度(2010年度)彦根市介護保険事業特別会計予算	予算額:57億1,965万1千円 ※対前年度比5.7%増
平成22年度(2010年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算	予算額:9億6,463万5千円 ※対前年度比3.8%増
平成22年度(2010年度)彦根市立病院事業会計予算	予算額:103億3,401万6千円 ※対前年度比0.6%減
平成22年度(2010年度)彦根市水道事業会計予算	予算額:33億1,913万4千円 ※対前年度比8.8%減

補正予算関係 = いずれも可決

件名	概要
平成21年度(2009年度)彦根市一般会計補正予算(第10号)	補正予算額:3億8,639万9千円 地域活性化・きめ細かな臨時交付金活用事業、病院事業会計負担金等の増額補正、子育て応援特別手当(平成21年度版)支給事業、金融対策事業等の減額補正および滋賀県信用保証協会小規模企業者小口簡易資金保証債務損失補償に係る債務負担行為補正ならびに繰越明許費
平成21年度(2009年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	補正予算額:2億4,567万1千円 一般被保険者療養給付費等の増加や、退職被保険者等高額療養費等の減少に伴う補正
平成21年度(2009年度)彦根市住宅新築ならびに改修資金貸付事業特別会計補正予算(第3号)	補正予算額:0円 平成21年度限りで本会計を閉鎖するに当たり、貸付金元利収入等の歳入が不足するため、一般会計からの繰入金で補てんし、清算を行うもの
平成21年度(2009年度)彦根市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	補正予算額:1億129万9千円(減額) 流域下水道事業費市町負担金および流域下水道維持管理負担金等の確定に伴う減額補正ならびに繰越明許費
平成21年度(2009年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算(第1号)	補正予算額:630万円 新型インフルエンザの流行により医薬材料費等が増加したことに伴う増額補正
平成21年度(2009年度)彦根市老人保健事業特別会計補正予算(第2号)	補正予算額:2,552万4千円(減額) 医療給付費および医療費支給費の減額補正
平成21年度(2009年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	補正予算額:3,571万円 各サービス給付費等の増減に伴う補正
平成21年度(2009年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	補正予算額:8,871万円(減額) 滋賀県後期高齢者医療広域連合納付金の確定に伴う減額補正

### 3 月 定 例 会 の 結 果

件 名	概 要
平成21年度（2009年度）彦根市立病院事業会計補正予算（第3号）	補正予算額…収益的支出：1億9,003万7千円（減額） 退職給与費等の人件費確定および入院患者の減少による診療材料費等の減額補正
平成21年度（2009年度）彦根市水道事業会計補正予算（第4号）	補正予算額…資本的支出：883万円（減額） 低公害車導入費および水質試験器具整備費確定による減額補正
平成21年度（2009年度）彦根市一般会計補正予算（第11号）	補正予算額：1,850万円 緑の分権改革推進事業の増額補正および繰越明許費等

#### 条例関係

条例の制定 = いずれも可決

件 名	概 要
平成22年度における彦根市長等の給与の特例に関する条例案	本市が直面する厳しい財政状況から、平成22年度における市長（10%）、副市長および教育長（それぞれ5%）の給料月額を削減するもの 市長 925,000円→832,500円 副市長 770,000円→731,500円 教育長 705,000円→669,750円
彦根市放課後児童クラブ負担金徴収条例案	地方自治法に基づく負担金を徴収するもの 【通年利用】 8月以外 月額6,000円、8月 月額10,000円 【学校の休業日のみ利用】 学年末 3,000円、学年始 3,000円、 夏季休業日 10,000円、冬季休業日 3,000円

条例の改正 = いずれも可決

件 名	概 要
彦根市違法駐車等の防止に関する条例の一部を改正する条例案	道路交通法の一部改正に伴い、高齢運転者等に係る駐車規制の特例に関する条項を加えるなど所要の改正を行うもの
彦根市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	国家公務員の給与・勤務条件の改定に準じ、本市職員の時間外勤務手当、勤務時間等を定める条例の規定について所要の改正を行うもの
財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部を改正する条例案	公有財産の有効活用を図るため、公有財産の無償貸付け等について所要の改正を行うもの
彦根市国民健康保険財政調整基金の設置、管理および処分に関する条例の一部を改正する条例案	後期高齢者支援金に要する費用の財源に充てる場合に、国民健康保険財政調整基金を処分できるよう改めるなど所用の改正を行うもの
国宝紙本金地管色風呂図(彦根屏風)の商標使用に関する条例の一部を改正する条例案	彦根屏風の商標使用許可の実績等を勘案し、商標を適用する指定商品または指定役務を定める表を改めるもの
彦根市特別会計条例の一部を改正する条例案	住宅新築ならびに改修資金貸付事業特別会計を閉鎖するため、所要の改正を行うもの
彦根市訪問看護ステーション条例の一部を改正する条例案	彦根市訪問看護ステーションが、平成22年4月1日から彦根市立病院内に移転することに伴い、事業所の位置の変更を行うもの

### 3月定例会の結果

件名	概要
彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	国民健康保険法施行令の一部改正等に伴い、所要の改正を行うもの
彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例案	彦根犬上広域行政組合投棄場の設置および管理に関する条例の一部改正に伴い、本条例において引用している条例名の改正を行うもの
彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	診療費その他の費用に係る債権の消滅時効が完成した場合における債権の放棄について規定するなど所要の改正を行うもの
彦根市旅館等建築規制に関する条例の一部を改正する条例案	特定旅館であるかの判定事務の迅速化・効率化を図るために所要の改正を行うもの

#### 人事案件 = 同意

件名	概要
彦根市副市長の選任につき同意を求めることについて	松田 一義（まつだ かずよし）氏 = 再任

#### その他 = いずれも可決

件名	概要
市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて	市道の整備等に伴い、廃止、認定を行うもの 廃止：5路線、認定：38路線
障害者自立支援法に基づく利用者負担免除等請求事件に関する和解について	障害者自立支援法に基づく利用者負担免除等請求事件を和解することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの
損害賠償の額を定め、和解することについて（2件）	法律上その義務に属する損害賠償の額を定め、和解することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの
彦根市立高宮小学校校舎増改築工事（建築工事）請負契約の締結につき議決を求めることについて	児童数が年々増加していること、今後更に児童数の増加が見込まれることから、校舎の増改築工事を行うもの 契約金額：3億8,729万2,500円
彦根市立東中学校改築工事（建築工事）請負契約につき議決を求めることについて	施設の老朽化が進んでいること、新耐震基準適用以前の建物であることから、災害時の生徒・教職員の安全確保とともに、地域住民の避難場所として防災機能の向上を図り、併せて、
彦根市立東中学校改築工事（電気設備工事）請負契約につき議決を求めることについて	情報化の進展や社会の変化による教育内容の高度化、教育方法の多様化などに対応するため、施設を改築し、その整備を行うもの
彦根市立東中学校改築工事（機械設備工事）請負契約につき議決を求めることについて	【建築工事】契約金額：19億1,625万円 【電気設備工事】契約金額：2億8,856万3,100円 【機械設備工事】契約金額：2億4,885万円

#### 議員提出議案（意見書案） = いずれも可決

件名
改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書案
「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書案

#### 請願 = 採択、不採択

件名
改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願書 = 採択
地上デジタル放送受信障害の適切な対策を求める請願 = 不採択

# 予算特別委員会の審査状況

3月定例会では、3月11日、12日、15日および16日に委員会を開催し、当初予算関係では、平成22年度一般会計予算ならびに国民健康保険事業・下水道事業・休日急病診療所事業・老人保健事業・農業集落排水事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業の各特別会計予算および病院事業・水道事業の各企業会計予算の計10議案、補正予算関係では、平成21年度一般会計補正予算・特別会計補正予算・企業会計補正予算の計11議案の合計21議案の審査を行いましたので、その概要をお知らせします。

## 主な質疑

### 【当初予算関係】

#### （一）一般会計収入

★市民税の積算根拠、市たばこ税収入の考え方・使途、減収補てん特別交付金の積算根拠

★みずほ文化センター使用料収入と事業経費の考え方、物品売却収入の内容、新修彦根市史や博物館等での物品の売上代の現状

★放課後児童クラブ入会負担金の積算根拠、福祉関連団体の21年度との違い、児童福祉債の内容

★夢京橋あかり館観覧料等の推移、市営住宅家賃・建築確認手数料の積算根拠 など

#### （二）一般会計支出

##### 「経務」

★地方債の起債の考え方、退職手当債と基金の関係、議会事務局調査担当職員の必要性、文書宅配委託料の増額理由、新型インフルエンザに係る備蓄の必要性、庁舎に係る光熱水費等の増額理由、軽自動車税課税等システム導入の効果、総合発展計画に係る調査等委託の内容、OAに係る総予算額、まちづくり推進事業総合補助金の内容、美しいひこね創造事業の現状、消防職員数の妥当性、消防ポンプ自動車の更新根拠 など

##### 「市民文教」

★消費生活相談事業の積算根拠、ごみ処理機等購入補助金の減額理由、不法投棄等パトロールおよび美化推進事業の内容、合併処理浄化槽設置補助対象の考え方、通学区域審議会の必要性・開催の有無、教育現場における研修会等出席負担金の活用方法、緊急雇用によるふれあい相談員設置事業・小1すこやか支援事業・読書活動支援事業の考え方・効果、幼稚園耐震診断事業の対象園、生涯学習推進事業委託の内容・方向性、お浜御殿の公有地化の状況、図書館ネットワーク化の内容、小学校給食調理業務民間委託の成果 など

##### 「福祉病院」

★福祉保健センターに係る地上デジタル放送対策の予算計上の有無、民生委員活動補助の内容、緊急通報システム運営事業の考え方、障害者生活ホーム運営費補助金の対象、減額理由、法内扶助費の増額理由、日中一時支援事業委託料の増額理由、家庭児童相談室運営事業の考え方、児童虐待防止対策事業でのネットワ

ーク化と啓発の現状、子ども手当支給事業の積算根拠・負担割合・人員体制、次世代育成支援対策協議会のあり方、

青少年問題協議会運営事業の意義、乳がん検診委託料の積算根拠 など

##### 「産業建設」

★有害鳥獣駆除対策の内容、湖東定住自立圏地産地消事業の概要、廃船処理等委託の内容・積算根拠、商店街振興に係る予算計上の考え方、中心市街地対策事業の概要、工場等設置奨励金の支出内容、観光事業に係る予算計上の考え方、駅前観光案内所の必要性、地域おこし協力隊事業の概要、コンベンション・ビューロー設置事業の目的、彦根口川瀬馬場線道路改良事業の概要、交通安全施設整備事業の積算根拠、屋外広告物許可事業での調査の概要と方向性、既存建築物アスベスト対策促進事業での台帳作成の内容と必要性 など

##### （特別会計）

★国民健康保険事業での保険料徴収率・滞納繰越分に係る徴収率、保険料率の見込み、積立金残高、一般会計からのさらなる繰り入れの考えの有無

★下水道事業での公課費の内容、公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業の工事概要・考え方

★農業集落排水事業での工事請負費の内容 など

##### （企業会計）

★水道事業での天王山配水池に係る工事概要・完成年度、大蔵浄水場拡張工事の考え方、ひこね荘の活用方法 など

##### 【補正予算関係】

★地域活性化・きめ細かな臨時交付金の活用範囲、庁舎前掲示板の改修工事の内容、物品売却収入・市民活動促進助成金の減額理由

★就学援助費補助金・燃料費等の減額理由、埋蔵文化財発掘調査に係る事業概要

★病院事業会計負担金の考え方、医療扶助の増額理由、介護認定審査会費等の減額理由、市立病院の医薬収益減の分析

★道路改良事業・琵琶湖森林づくり事業等の減額理由、京橋口駐車場の無料休憩所設置事業・さんばみち修景整備事業の内容 など

## 討 論

全議案に対する賛成討論1人、平成22年度一般会計予算および国民健康保険事業特別会計予算に対する反対討論1人

## 採決結果

すべて原案のとおり可決

# 常任委員会の審査状況

3月定例会では、3月1日および18日に市民文教、17日に福祉病院および産業建設、18日に総務の各常任委員会を開催し、議案および請願の審査を行いましたので、その概要をお知らせします。

## 審査

(3月1日)  
高宮小学校校舎増改築・  
東中学校改築工事の請負  
契約締結案件4議案

(3月18日)  
条例改正4議案および  
請願1件

## 主な質疑

(3月1日)  
★放課後児童クラブに係  
る教育委員会の対応状況、  
改築に係るシミュレーシ  
ョンの内容、太陽光発電  
設備設置に係る契約状況、  
契約者の概要、個性重視  
の考え方、東中改築は今  
後の他校の改築を見据え

た内容かどうか など  
(3月18日)

★彦根屏風の商標使用に  
関し、商標を適用する指  
定商品または指定役務を  
減らす理由

★国民健康保険条例の一  
部改正に関し、条例案付  
則中の「当分の間」の考  
え方 など

## 採決結果

(3月1日)  
すべて原案のとおり可  
決  
(3月18日)  
議案は、すべて原案の  
とおり可決  
請願は、採択

### 市民文教常任委員会

## 審査

条例改正3件、市道路  
線の廃止・認定に係る議  
決案件1件の合計4議案

## 主な質疑

★違法駐車等の防止に関  
する条例の一部改正に関し、  
高齢運転者等専用駐車区  
間の場所、特例を受ける  
ための届出の時期

★旅館等建築規制に関す

### 産業建設常任委員会

る条例の一部改正に関し、  
旅館等建築審査会の開催  
状況・条例改正後の開催  
条件

★東沼波町における開発  
帰属による市道路線の認  
定の考え方 など

★東沼波町における開発  
帰属による市道路線の認  
定の考え方 など

すべて原案のとおり可  
決

## 採決結果

すべて原案のとおり可  
決

## 審査

条例新設1件、条例改  
正2件、損害賠償額の決定・  
和解に係る議決案件3件  
の合計6議案

## 主な質疑

★放課後児童クラブに係  
る利用者の料金負担の考  
え方、料金設定区分の考  
え方、今回の負担金徴収  
条例による収入増の見込額、  
減免措置の考え方、指導  
員のスキルアップ策、未  
収金の状況、障害者への  
対応、負担金以外の料金  
徴収の有無

★市立病院に係る医療費  
等の債権放棄の規定を設  
けることになった経過、  
条例改正に伴う対象件数・  
対応

★市立病院で発生した損  
害賠償に係る額の算定根  
拠 など

★市立病院で発生した損  
害賠償に係る額の算定根  
拠 など

## 討議

放課後児童クラブ負担  
金徴収条例案に対し、賛  
成討論、反対討論それぞ  
れ1人

## 採決結果

すべて原案のとおり可  
決

### 福祉病院常任委員会

## 審査

条例新設1件、条例改  
正2件の合計3議案およ  
び請願1件

## 主な質疑

★月60時間を超える超過  
勤務に係る時間外勤務手  
当の割増しに関し、背  
景となる労働基準法改正  
のとらえ方、不払い労働  
への懸念、月60時間を超  
える超過勤務の現状、労  
務管理の考え方、時間外  
勤務代休時間制度活用の

疑義、所属長の位置づけ  
など

## 討論・発言

★職員給与に関する条  
例等の一部改正議案につ  
いて賛成討論2人

★地上デジタル放送受信  
障害の適切な対策を求め  
る請願について賛成発言、  
反対発言それぞれ1人

議案は、すべて原案の  
とおり可決

## 採決結果

議案は、すべて原案の  
とおり可決  
請願は、不採択

### 総務常任委員会



# 新公政会

質問者 田島 茂洋

所属議員：10名

**問** 彦根市と愛知・犬上1市4町の湖東定住自立圏構想は、本市が中心市宣言、本市と各町とで形成協定の締結。その後、先行実施団体として、共生ビジョンに基づく目玉の主要事業は何か問う。また、スポーツ振興施設等、今後新しい考えの事業への対応はどうか。財政の恩典となる交付税・交付金の試算はどの程度か問う。また、圏域の状況から米原市との協定は可能と推測するがどうか。

**答** 今日の日本では、物理学の低迷から脱却して、理工系学問の物理学推進が強く叫ばれている中、本市に根付いた科学教育環境に係る彦根市サイエンスプロジェクトの実施は、将来の科学者の育成につながるのを射た事業と評価するものである。市長の政策としてビジョンを問うものである。なお、学校の中での物理学問上からも、カリキュラムの中やクラブ活動として取り組めないか。



## 定住自立圏構想の主要事業と恩典は



この構想は彦根市の事業推進に有利

**答** 市町を越えたデマンドタクシー、稲枝駅舎改築・駅前広場整備、区域拡大の地域創造事業、市立病院の産科再開等の地域医療ほか、本構想で取り組む事業は、目玉と考えている。協定にない新規追加事業も変更議決の上可能である。資金優遇として既に交付金1億4000万円超のほか、次年度は約5700万円を試算している。米原市との協定締結は可能である。米原市の意向と協議が必要。



## 彦根市サイエンスプロジェクトとは



科学教育環境の提供と指導者の育成

**答** 彦根から近い将来、日本を支える科学者が育つことを願って科学教育の場の提供を支える指導者の育成、さらに地元産業を活性化し、産業界・教育界に寄与する人材の輩出を目的に平成21年度から実施している。ロボットによるサッカー競技を行うもので、英語によるプログラミングを行うことで総合的な学習ができる。学校での取組は困難、社会人のボランティアに頼めばと思う。

### ほかにもこんなことを質問しました

- ☆「びわ湖・近江路観光圏」の推進に期待して
- ☆県事業に対する彦根市の姿勢を問う
- ☆彦根市の商店街の活性化について
- ☆広域ゴミ処理施設建設の推進状況について
- ☆これからの彦根市における農業施策について
- ☆彦根教育の基本における学校・家庭・社会教育に教育長の目指すものは
- ☆彦根市における体育振興について
- ☆彦根市におけるアドボカシー制度の導入について





# 新政ひこね

質問者 夏川嘉一郎

所属議員：5名

**問** 米国発長期不況、地域主権化進行、この変革期、新予算編成に当たり言えることは厳しい自己責任時代到来と言うこと。本市も土地整備や観光、病院支援、文化財整備等、費用のかさむ課題や、医療福祉、子育て等日常生活課題も山積、特に歳入面で市税大幅減なるも県下最悪の実質公債費比率改善を含む持続可能財政基盤の構築急務と考える。新予算編成に当たり、当局の取組基本姿勢を問う。

**答** 今や地方主権化の時代。時代の要請、農業農村の再生は持続可能社会構築に不可避の課題。当市も先駆市同様、独自工夫で再生に取り組むべきとき。まずやるべきは計画に基づく土壌作り即ち、人材の育成確保。具体策として大学との連携化や職員の養成策を強く推進すべきである。また、人材外項目だが懸案の六次産業化やバイオ等の産業化をも強く推進すべきものと考え、当局の考えを問う。



**地域農業再生には  
まず人材整備急務**



**新予算編成に関する  
基本姿勢を問う**



**「産官学」連携で農業課題に対応**



**新年度予算編成に関しての取組姿勢**

**答** 22年度、予算編成に望み目指すべき方向、基本姿勢としては、まず現政権が主張の施策方向を見定め、その上で本市の進むべき取組姿勢を決めていくべきと考えている。いずれにしても「財政健全化法」の趣旨を踏まえた持続可能な財政基盤確立方向の中で進めるべきものと考えている。優先順位を決め選択と集中を徹底し財政危機克服、分権化に基づく新たなまちづくりに貢献すべきと考えている。

**答** 市の職員採用は農学部出身者のみを増やせない仕組み。ただし、採用職員には内部研修や外部実践を通じ能力開発に努めている。一方、一昨年度より県農業技術職員の市町派遣制度が実施され本市も制度活用中。今後多様化する農業問題に対応のため県内や近畿の大学、研究機関と連携を密にしていきたい。また、バイオ産業等の振興は「緑の分権改革」の流れの中、産官学等の協力が必要である。

**ほかにもこんなことを質問しました**

- ☆持続可能な財政基盤の確立について
- ☆福祉問題の施策方向について
- ☆まちなか不管理地（空き地・空き宅地）のごみ・雑草除去等、安全安心、美化対策について
- ☆市立病院の改革（改革プランによる）推進状況について







# ガバナンス21

質問者 有馬 裕次

所属議員：4名

**問** 特別養護老人ホームの待機者が大幅に増えている。「5年待ち」ということも珍しくない。これは元々あった要望が顕在化され「もしもの時のため」という「取りあえず申込者」の増加、施設整備向上も拍車がかかる要因で約770名の入所待ちがある。所得制限があり種々施設の入所待ちもあり重複している数もあるが彦根市はどのようにその要望をつかんでどのような対策をとろうとしているか。

**答** 旧市内の中心地域は高齢化が進んでおり医療空白地になっている。休日に体調異変が起こった時は現在地の平田町では高齢者には離れ過ぎており市立病院が近くにあつた当時とは医療環境は激変しており対応できていない。レントゲン検査が必要な方には設備されてなく他病院を紹介している現状で福祉保健センター内に置く必要性や「地域医療支援センター」の設置計画と内容を具体的に公表を。



**家族の介護地獄を  
解放の保険制度に**



**待機者が解消されるよう確保したい**

**答** 真に必要な要望は把握できていない。施設ごとに定める「優先基準」に基づき入所判定されるため把握ができない。入所要望については家族やケアマネジャーからの相談、地域包括支援センターや在宅介護支援センターの総合相談、特別養護老人ホームから情報を得るよう努めている。第4期介護保険事業計画において増床等の施設整備を見込んでいる。待機者が解消されるよう県と連携しながら確保したい。



**休日急病診療所の  
施設整備の充実は**



**休日急病診療所の施設の充実を図る**

**答** 保健事業と併用した施設であり手狭さなど機能の充実を図る時期が来ており、移転について二次救急医療との役割や分担等を関係者と協議し検討する。救急医療は地域の医療資源の役割分担と連携するため充実させていく地域医療支援センターについては「休日急病診療所」の整備、歯科・薬剤管理を含めた地域医療拠点施設で訪問看護ステーションの機能も含め県を中心に具体的に協議する。

ほかにもこんなことを質問しました

- ☆平成22年度当初予算案について
- ☆市立病院の看護師対策について
- ☆「彦根市民健康サポーターズ倶楽部」について
- ☆自然環境保全への取組について



▲彦根休日急病診療所



# 日本共産党

質問者 田中 滋康

所属議員：3名

**問** 商店街は疲弊し、売上激減で悲鳴を、いつ首になるかと不安定な非正規労働者や収入減が市民の生活実態である。商店街支援に970万円、城まつり・花火大会・ゆかたまつり等市内の行催事補助金総額が、4867万円であるのに比し、大企業4社に「産業の振興と雇用の拡大を図る」のに寄与するとして2億320万円の奨励金を出すことは、市の財政状況や市民感情からも是認できない。撤回を。

**答** 次世代育成支援事業の放課後児童クラブと保育園の入所について、待機児をなくすための対応策は。また、放課後児童クラブの開設時間の延長と対象学年を広げる計画実現の旨を示し、保育園新増設予算を計上している概要と当面の待機児解消の対応策を明らかに。国は保育園の定員超過の上限を撤廃し、詰め込み緩和策の方向にあるが、これに安易にのらず増設を基本に取り組むこと。

**Q** 待機児童をなくした、次世代育成を

**Q** 大企業への工場設置 奨励金は不要

**A** 施設充実により待機児解消に努める

**A** 安定的な税収確保と雇用維持に有益

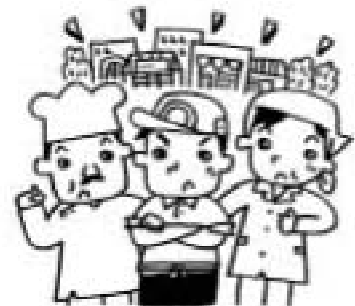
**答** 工場等設置奨励金の目的は「産業の振興」と「雇用機会の増大」にある。近年の設備投資はIT化や機械化により、必ずしも大量の雇用につながるとはいえない面があるが、直接的には法人市民税の増加に、間接的には従業員の所得向上や個人消費の増大が見込まれるなど将来的に安定的な税収確保につながる。また、企業の誘致と同時に既存事業所の撤退を抑止する効果と雇用を維持することにつながる。

**答** 放課後児童クラブは、22年度より第2土曜日を試行開設、施設充実の具体的計画を持つに至っていないが、必要に応じ優先的に検討する。

保育園の新設は金城学区内に定員90人を河瀬学区内のどんぐり保育園が10人、旭森乳児保育園が15人増員する計画である。新たな施設ができるまでの対策は、定員の弾力的運用や希望保育所間での入所調整をして待機児童解消に努める。

## ほかにもこんなことを質問しました

- ☆地域の雇用創出強化の取組を
- ☆後期高齢者医療制度の廃止は民主党の公約であり、政府に実行の要求を。保険料の値上げをするな
- ☆「国保財政への国庫負担を削減するな」の声を政府に届けること
- ☆中学校給食実施の早期実現を
- ☆周産期医療体制・市立病院でのハイリスク分娩再開のメドは
- ☆教育問題について
- ☆日本の農林業の衰退を防ぐ手立てを
- ☆スマートインターチェンジは必要か
- ☆補助金削減の見直しを
- ☆改良住宅の払い下げの検討は
- ☆子どもの医療費無料化対象の拡大を



成宮 祐二

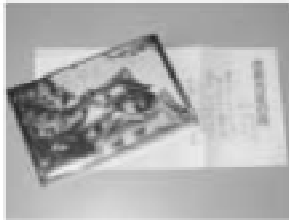
**問** アナログ放送は停波まであと1年余に迫ったが、市の管理する建築物も含めて、地デジ対策は始まったばかりである。

①市内の難視聴地域とその世帯数はどうか。②具体的対策はどうか。③福祉保健センターの要望は、福祉保健部が責任をもって対応できるのか。

**答** 難視聴地域は10組合、906世帯となっている。対策は、共聴施設管理者

馬場 和子

**問** みんなの彦根で結ばれる素晴らしい歌詞の「彦根市民の歌」は郷土愛につながるものであり、歌う機会を増やしてはどうか。



▲彦根市民の歌

地デジ対策を早急に・強力に



対策は各施設管理者で行う



であるNHKやJR等が対応している。市は、整備事業に伴う申請補助などで支援している。独自の補助制度は考えていない。福祉保健センター対策は、福祉保健部である。



彦根市民の歌を  
広げる手立ては？



歌詞・CD配布し歌う機会を増やす



**答** 昭和32年、市制施行20周年に完成した曲である。市民が集まる会合で最初に歌うことが大切であり、歌詞が楽譜のピラを配りCD化して自治会や学校等にも配布したい。  
**問** 庁舎内に歌詞を掲示することを提案するが、貴重な提案と受け止め、彦根市民憲章と「彦根市民の歌」の歌詞を庁舎に掲示する。現在、毎週水曜日に庁内放送で流しているが、様々な形で広めて市民の一体感をつくるよう普及に努める。

小川喜三郎

**問** これまでに中心市である彦根市への臨時交付金の使途は、

**答** 20年度の臨時交付金は、基金にしたが、これを取り崩し、22年度当初予算において、地域創生事業、河川水質汚染防止事業、湖東三山スマートインターチェンジアクセス道路事業、地産地消事業、コンピュータシステム運用事業に支出する。  
**問** 今後の市民への説明

小林 武



**問** 受動喫煙防止、公共の場全面禁煙の考えは、タバコを1日20本吸う場合、肺がん15倍、心筋梗塞3.6倍、脳卒中1.6倍の危険といわれている。

定住自立圏中心市への  
交付金の使途



積み立てた基金を取り崩し活用する



**答** 広報ひこねでは、これまで4回にわたり掲載された。22年度予算が議決されれば、具体的な取組について市民に伝え、十分な周知を図る。

受動喫煙防止、  
商店街灯電気代補助は



関係施設全面禁止、太陽光発電の利用



受動喫煙被害は肺がんや心筋梗塞による死亡の危険度が増し、乳幼児の場合、乳幼児突然死、低出生体重児出生や、小児喘息、中耳炎等の原因にも挙げられている。今後市施設の全面禁煙に取り組みたい。  
**問** 商店街の街路灯電気代の補助について。  
**答** 電気代の補助はできないが、緑の分権改革推進事業として太陽光発電によって街路灯の電気代の一部を賄うための実証試験を行う予定である。



### 重要文化財 佐和口多聞櫓の公開は

**問** 佐和口多聞櫓は150年祭終了後、仮設階段撤去の予定と聞いているが、公開、仮設階段の期間延長はできないのか。

**答** 佐和口多聞櫓の窓から眺める「いろは松」と石垣、中堀に写す満開の桜など、四季折々の風情には大きな反響があったことから、文化庁に公開期間の延長を申請している。県を介してだが文化庁からは延長についての

矢吹 安子



▲佐和口多聞櫓

条件が示されている。仮設階段は観光シーズンを避け、8月末までに撤去の予定であるが、4、5月は櫓も公開する。その間に文化庁が示す条件等協議をし、期間延長できるように努力したい。

**A** 8月末までに撤去予定だが



### おいしいスクールランチをねがう

**問** 中学校給食は検討中で実現していない。おいしいスクールランチで学生の昼食を支援することが大切だ。スクールランチの現状を聞う。



山口 大助

**答** 現在、保護者が320円、市が160円の負担だが、22年度予算で市は20円増額し1食当たり500円の単価としたい。月2回「おすすめメニュー」を設定している。3月3日のおすすめメニューは、わかめご飯、鶏肉の生姜焼き、鯉の竜田揚げ、ゴボウサラダ、野菜ソテー、ゼリーで、利用した生徒からも好評だった。旬の野菜の使用や行事に応じた献立、パンを主食とした献立のリクエストも実施している。

**A** メニューを工夫、生徒にも好評



### 3歳児が幼稚園に 全員入園できるか

**問** 3歳児が現在、幼稚園に入園できません。すべての希望者が入園できるようにしてほしい。

**答** 幼稚園の3歳児はなお待機が続いているのが現状であり、今後、公立の幼稚園で待機が多い地域からでも何とか3歳児クラスを増やすなど、検討していきたい。

**問** 待機児童数は地域において偏在している。いっしょに入園できるようにする

松本 忠男



のか。

**答** 年度により、また地域により、3歳児クラスへの入園希望者数に変動がある。学級数や定数等の見直しを検討することにより、何とか減らす方向で対策を考えたい。

**A** 3歳児クラスを増やす



### 本市南部まちづくりに 誇りと愛着を



▲荒神山

杉本 君江

**問** 荒神山古墳の国史跡指定に向け調査報告書の提出について尋ねる。

**答** 正式な報告書を作成し、文化庁に提出する準備を進めている。報告書は3月中旬に完成予定である。

**問** 申請手続き後、審議を経て史跡指定の告示となるのはいつ頃か。

**答** 最も早くても平成22年度末になると思う。

**問** 荒神山古墳国史跡指定後の本市の考えは。

**答** 市内では3番目の国の史跡となり、荒神山古墳保存管理計画を作成し、周辺の高塚群や杜寺、山崎山城跡などの文化財や曾根沼など自然景観を取り込んだ活用計画についても検討していく。

備を進めている。報告書は3月中旬に完成予定である。

**問** 申請手続き後、審議を経て史跡指定の告示となるのはいつ頃か。

**答** 最も早くても平成22年度末になると思う。

**問** 荒神山古墳国史跡指定後の本市の考えは。

**答** 市内では3番目の国の史跡となり、荒神山古墳保存管理計画を作成し、周辺の高塚群や杜寺、山崎山城跡などの文化財や曾根沼など自然景観を取り込んだ活用計画についても検討していく。

**A** 文化財や自然景観の活用計画を検討

徳永ひで子



**問** 幼稚園の保護者のニーズに対応するため、幼稚園における新たな取組として、預かり広場を設置し、希望者による1時間の延長保育を実施する

赤井 康彦

**問** 地域の先生とも言える人材情報を各小学校で把握していても隣の小学校には活かせないことや地区公民館等にも人材情報があり、知りたい情報がバラバラにあることから教育委員会が情報を把握し、整備すべきだ  
**答** 各小学校、地区公民館や文化財部をはじめとする教育委員会の各所属の人材情報や、また、可

幼稚園の預かり広場事業は

降園時14時から15時まで預かり実施

**答** 幼稚園に在籍する幼児で保護者が希望する4歳児と5歳児を対象に、降園時の14時から15時までの1時間の預かりを実施する。子どもの心身の負担を考え、3歳児の預かりは考えていない。また、市内すべての幼稚園で同時に預かり広場を実施する。

地域の先生・人材バンクの整備を

教育委員会主体で整備を進めていく

能を限り他部局からの人材情報も収集・整理し、有効に活用していく。また、専門性の高い人材情報を広報やホームページを活用して教育委員会が主体となった募集を行うなど幅広い人材情報の整備を進める。



山田多津子



**問** 1人当たりの日量排出は現在10000グラムで、目標の9000グラムにするには可燃ごみの4割を占める生ごみを減少させることが不可欠である。ごみ減量化を進める

西川 正義



▲ 浜がけ

**問** 薩摩町の湖岸において浜がけが発生しているが安全対策について問う。  
**答** 管理者である湖東土木事務所と市の道路河川課職員により約1000m

減量化モニター設置の検討を

ごみ減量化推進を市民との協力で

ことはごみ処理施設の負担軽減だけでなく、コスト削減にもつながる。ごみ減量化推進のモニターを設置し、市民との協力を進め、行動計画を示すべきと考える。  
**答** ごみ減量化を進めるには、発生抑制策として生ごみ処理機や簡易生ごみ処理の普及と、市民の協力が不可欠で減量化に向けた具体策として「環境基本計画および地域行動計画」の検討中で、提案も参考に有効な対策を示していく。

薩摩町湖岸の浜がけ対策は

安全確保と対策工法の検討を行う

にわたって浜がけを確認し、3月2日に県事務所が立ち入り禁止のロープや看板を設置し、安全対策を図ったところであり、今後定期的にパトロールを実施すると聞いている。  
**問** 浜がけ箇所の今後の対応策について問う。  
**答** 新浜で施工完了した砂止めの実現や湖岸をブロックや石で根固めする工法等があるが、薩摩地区については詳細な現況調査を行い、対策工法を検討することである。



## ペロタクシーを 新たな公共交通に

**問** 国のモデル事業として実験の自転車タクシーは高齢者と狭い道の多い旧市街地で最適な交通手段になると考えるが国に続く市の支援はできるか。

**答** 自治会とNPO法人五環生活とが主体的に取り組み、新たな公共交通を補完する事例としてモデル事業の評価を注目、事業者に対して市は観光の位置づけで支援。湖東定住自立圏共生ビジョン

細江 正人



▲ペロタクシー

でもこれらの活動を支援。  
**問** 地域に定着するには誰が何をすればよいか。  
**答** 自治会は住民の関心を高め、事業者は持続可能な体制整備と制限の撤廃、行政は縦割りの連携、三者は協力体制の構築を、



## 稲枝駅改築整備および 交通アクセスは

**問** 取組の現況は。  
**答** 改築に向け、基本計画に取り組んでいる。芹橋彦富線・稲部本庄線については、測量中で今年度中に完了予定である。



▲稲枝駅

渡辺 史郎

**問** 湖東定住自立圏構想での位置づけは。  
**答** 湖東定住自立圏の形成に関する協定書において地域公共交通ネットワークの構築の取組の一つとして、整備を実施する。  
**問** 今後の取組計画は。  
**答** 22年度策定予定の基本設計を踏まえ、JR西日本との基本協定を早急に締結できるよう努力する。芹橋彦富線・稲部本庄線は、測量結果に基づき、道路設計、境界の立ち会い、用地測量を考えている。



持続可能な運営体制の整備を地域で



駅舎改築に向け作業を進める

## ほかにもこんなことを質問しました

- ☆定住自立圏事業について
- ☆定住自立圏構想の一環としての図書館整備について
- ☆湖東定住自立圏で取りおろ図書館構想について
- ☆定住自立圏構想・共生ビジョンについて
- ☆(仮称)彦根市まちづくり基本条例案案について
- ☆「(仮称)彦根市まちづくり基本条例案案」のたたき台について
- ☆住宅用火災警報器設置義務について
- ☆15年を経た阪神大震災の教訓を生かす安心安全なまちづくりについて
- ☆財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部改正について
- ☆公的資金の補償金免除の繰上償還の措置について
- ☆各種団体への市の補助金の削減について
- ☆核兵器廃絶について
- ☆議案第12号 彦根市放課後児童クラブ負担金徴収条例案について
- ☆議案第22号 彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案について
- ☆安心できる介護制度に
- ☆市民の生命を守るために
- ☆誰もが利用しやすい介護保険制度を求めて
- ☆細菌性髄膜炎について
- ☆議案第29号 彦根市立高宮小学校校舎増改築工事(建築工事)請負契約の締結につき議決を求めることにつ

- いて、議案第30号 彦根市立東中学校改築工事(建築工事)請負契約の締結につき議決を求めることについて、
- 議案第31号 彦根市立東中学校改築工事(電気設備工事)請負契約の締結につき議決を求めることについて、
- 議案第32号 彦根市立東中学校改築工事(機械設備工事)請負契約の締結につき議決を求めることについて
- ☆神上沼の銃猟禁止区域指定について
- ☆「預かり広場」設置について
- ☆幼稚園教育の現状と課題について
- ☆教育問題～具体的課題について
- ☆地域で子どもを育てる取組について
- ☆無料自習室の開放を
- ☆読書活動の活発化について
- ☆東高・裁判所前の広小路に御舟入公園(ポケットパーク)イベント広場を
- ☆県の事業見直しに関して
- ☆議案第18号 彦根市特別会計条例の一部を改正する条例案について
- ☆観光推進事業について
- ☆戦国を切り口にした集客施設について
- ☆戸別所得補償制度モデル対策について
- ☆NPO法人近江湖東ネット立ち上げについて
- ☆一級河川における堆積土砂及び雑草対策について
- ☆公共下水道事業について

議会改革特別委員会（1月25日開催）中間報告

予算特別委員会のあり方について

議員へのアンケート結果を踏まえ、委員致について協議しました。

〔完〕 決算特別委員会は10人の委員で慎重に審査されており、予算特別委員会も10人の委員でよいのではないかと。

〔完〕 予算と決算のバランスを考えると、予算特別委員会も全員で議論するほうがよい。物理的な制約で減数するのではなく、その制約を改善することがよいのではないかと。

〔完〕 予算と決算の連動性については、委員会の運営の問題点も含め議論する必要がある。 など

・全員での審査と減数しての審査との意見に二分され、最終的に採決をしましたが、回数となり、委員長裁決により、現行のまま全員で審査することに決しました。

議会開放推進プロジェクトチームの位置について

〔完〕 これまでに議場コンサートは5回開催され、市民にも定着してきており継続するべきで、運営も事務局に頼らず、議員で実施できるように組織を整理してはどうか。

〔完〕 これまで有志により運営してきたが、議場コンサートの出演希望者も増加しており、何らかのルール作りが必要な時期に来ている。議会としての取組にしないと長続きしない。

〔完〕 有志により運営されているが、議会の中でどう位置づけるか決めないで、参加しづらい面もある。

〔完〕 正式な組織として位置づけることと身動きできなくなる恐れがあり、今ままでおり自由度を高くしておくべき。ただ、通勤途上の事故等の対応ができる措置は必要である。 など

・議会開放は議会改革の一環であり、傍聴者の増加に結びつける目的もあること、また、議場コンサートなどの実施時期等の問題点もあり、代表者会議や様々な場で協議が必要であり、本委員会の議論の経緯を議長に報告する。

今後の協議項目について

・予算特別委員会の項目は、一定の結論を得たため、一旦協議対象から外す。

・議会開放の協議項目は、議長の裁量に委ねる。

・議会基本条例の項目は、今後の課題として重要であり、先進地の視察を行うなど取り組む。

先進都市視察について

・今後の協議の中心となる議会運営の基本事項のうち、議会基本条例や政治倫理条例に係る取組の先進地である豊田市および菊川市を視察する。

視察報告は、18ページに掲載しています。

環境対策特別委員会報告

2月10日に委員会を開催し、前回の委員会（平成20年6月3日）開催以降の湖東地域一般廃棄物処理施設広域化事業の進捗状況等について、理事者から、湖東地域一般廃棄物処理施設広域化事業促進協議会の協議内容をもとに報告を受けた後、地域計画策定に係る質疑応答がありました。

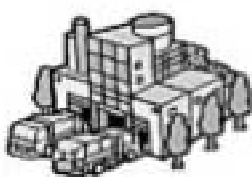
その後、理事者からの報告にもありましたが、3月1日から新しいごみ処理施設の設置および管理運営に関する事務が、本市から彦根愛知犬上広域行政組合に移管されることに伴い、本委員会の設置目的の一つである「一般廃棄物広域処理施設に係る諸問題の調査研究」部分がなくなり、「現焼却場に係る諸問題の調査研究」部分のみとなることから、常任委員会との関係を考え、本委員会の終了について委員長から提起し、委員の意見を求めました。

意見（概要）

〔完〕 本委員会を終了することに異議はないが、環境問題はごみ問題を含めて広範に及ぶことから、今後も議会で議論する場が必要である。

〔完〕 本委員会を終了することに異議はないが、彦根愛知犬上広域行政組合での協議内容を注視していく必要がある。

委員から出された意見は、基本的に本委員会を終了することに異議はないものであり、最終的には、本委員会を終了することに決しました。



子ども議会・議場コンサートを開催しました

市民に対してより積極的に開く議会、市民に身近な議会を目指す取組の一環として、2月6日に子ども議会を、3月1日に第6回議場コンサートを開催しました。

子ども議会(2月6日)

彦根市の未来を担う小学校の児童に、彦根市の将来に対する質問や提案をしてもらうこと等を通じて、議会制民主主義を体験的に理解し、政治への関心を深めてもらうこと、また、保護者に子どもたちの議場での活動を傍聴してもらうことを通じて、市議会や行政の取組をより身近なものと感じてもらおうことを目的とした子ども議会を開催しました。

当日は、市内17小学校から6年生各校2人の合計34人の子ども議員から、

「彦根市政について」の議題に対し、子どもたちの視点で、本市の将来に対する質問や提案がありました。その内容は、まちづくり、環境、観光、農業、福祉、教育等、市政全般にわたるものであり、市長をはじめ、副市長・教育長・各部長から答弁がありました。



子ども議員質問・提案概要

小学校	氏名	質問・提案内容
城西	石田 実果さん	花や木を公園に植えるなど彦根をきれいにする取組
城東	和田きららさん	①商店街の空き店舗対策
		②商店街の空き店舗を利用してひこにゃんの家を作っては
旭森	横田 祐朔さん	安全で大きな公園を作ってほしい
若葉	谷口 深琴さん	①観光客を増やす取組は
		②彦根城の観光客に彦根の名産品をプレゼントしては
稲枝北	藤本凜太郎さん	彦根市の食料自給率を高める取組は
亀山	成瀬 遊さん	町の街灯の色を青色に変えて、数をもっと増やし、治安のよい彦根市にしてほしい
鳥居本	宮尾 和希さん	体の不自由な人が使いやすい公共施設整備について
城南	田中 千晴さん	学校間の交流や、子どもが開催するイベントを
城北	北川伊央里さん	体の不自由な人に対する工夫について
河瀬	三谷 桃香さん	南地区に図書館を建設することについて
佐和山	西川 央基さん	佐和山の登山ルートを整備と案内板
金城	香水 悠馬さん	図書室の利用策について
平田	宇佐美壮平さん	市議会について
高宮	白木 彩音さん	琵琶湖岸の風を利用した風力発電所を作っては
平田	小松 翔さん	学校施設について
稲枝東	藤野 拓馬さん	芝生のグラウンドを作ってほしい
城北	角田 凌さん	交通混雑をなくすための工夫



## 子ども議会・議場コンサート開催

小学校	氏名	質問・提案内容
若葉	岡 智康さん	彦根市の歴史の漫画本を作ったらどうか
金城	飯島 悠太さん	通学路の安全対策について
城南	吉岡あや音さん	店の照明を弱めるなどの対策や工夫
稲枝西	安居 佑馬さん	本校のわんぱく池を整備してほしい
烏居本	清長 遼太さん	地域の人と観光客が交流できるイベントについて
城西	堀田 航希さん	城下に近代的な建物が増えないようにする
稲枝北	杉原 裕也さん	琵琶湖をきれいにする取組について
高宮	岡本 和路さん	①彦根市のインフルエンザ対策について、どんな取組をしているのか
		②学校での予防接種はできないのか
旭森	岡田 衣咲さん	彦根市の生物に関する取組
城東	藤本ひかるさん	①ユニバーサルデザイン、バリアフリー化
		②災害時障害者支援ボランティアについて
城陽	辻 貴子さん	学習等に自由に使えるスクールバスについて
佐和山	高橋 勇貴さん	彦根市の自然保護について
稲枝東	鹿島沙也香さん	お城まつりパレードに中学生も参加できないか
稲枝西	小倉 優人さん	佐和山城を再建してほしい
城陽	中村 公哉さん	老人ホームや総合病院、お医者さんを増やしてほしい
亀山	清水 奈月さん	通学路にあるプラタナスの木に、毎年、大発生する毛虫等の駆除について
河瀬	田辺 雪瑛さん	捨てられるペットの対策は

### 第6回議場コンサート(3月1日)

日本よし笛の会・母恵夢(ぼえむ)の丸本文江さん、寺村尊子さんのお二人とギター伴奏の小林義和さんをお招きし、「四季の唱歌メドレー(おぼる月夜、浜辺の歌、里の秋、冬景色)」、「贈る言葉」、「竹田の子守唄」、「エーデルワイス」、「もののけ姫」、「翼をください」、「見上げてごらん夜の星を」、「琵琶湖周航の歌」など約30分間にわたって、よし笛による演奏をしていただきました。

議場には、多くの方々にお越しいただき、やさしく、やわらかで、どこか懐かしく、はかなげで、でも凛とした強さを持ったよし笛の音色を感じていただき、心に響く演奏を満喫していただきました。



子ども議会や議場コンサートの詳しい内容については、市議会ホームページに掲載予定です。また、平成22年6月7日(月)には、第7回議場コンサートを開催予定であり、詳細は、市議会ホームページや広報ひこねでお知らせする予定です。

議会運営委員会

平成22年2月3日・4日  
島田市・岡崎市

本委員会では、議会基本条例を中心に、議会運営全般について先進地の行政視察を行いました。

島田市議会では、議会基本条例を平成21年4月に施行されています。条例制定に向けた体制として、平成19年3月に議会基本条例制定に関する調査特別委員会を設置され、条例の調査研究、条例に規定する項目選定作業等

行われました。条例制定の成果としては、議会が条例原文にある「自立し、自律した存在」となるための雰囲気になってきたとのことでした。

岡崎市議会では、議会基本条例を平成21年11月に施行されています。条例制定に向けた体制として、平成20年11月に議会基本条例設置特別委員会を設置され、十数回にわたる

議会改革特別委員会

平成22年2月8日・9日  
島田市・菊川市

本委員会では、議会基本条例を中心に、議会改革、議会運営全般について先進地の行政視察を行いました。

豊田市議会では、議会基本条例を平成21年5月に施行されています。条例制定に向けた体制として、平成20年5月に議会基本条例検討特別委員会を設置され、1年間に十数回の委員会を開催し、条例

案の調査研究をされました。条例制定の成果としては、議員定数検討の際、取組に深まりが出るなど、議会活性化につながるというとのことでした。

菊川市議会では、議会基本条例を平成21年2月に施行されています。条例制定に向けた体制として、平成20年1月に議会改革特別委員会を設置され、条例素案作成に向け、34

調査・協議等を重ねられました。条例制定の成果としては、議員の調査活動を活発化する取組が進んでいるとのことでした。両市議会の取組は、今後の本市議会の取組を行う上で大いに参考となるものでした。



回の委員会を開催し、協議をされました。それ以外に、全員協議会、自治会や住民団体との意見交換、執行部との調整も数多く行われていました。

両市議会の取組は、今後の本市議会の取組を行う上で大いに参考となるものでした。



次の定例会は  
**6月です**  
3月定例会は延べ25人が務め



本会議の日程(予定)

- 開 会 6月7日(月)
- 個人質問 6月14日(月)
- 6月15日(火)
- 閉 会 6月23日(水)
- 6月16日(水)
- 6月23日(水)

委員会の日程(予定)

- 予 算 6月17日(木)
  - 産 業 建 設 6月18日(金)
  - 総 務 6月21日(月)
  - 市民文教 6月21日(月)
  - 福祉病院 6月21日(月)
- ◆印の委員会は14時から、それ以外は9時から開催予定

編集後記

春の薫りがそこかしこ、薄開の桜の下で新入学生や新社会人の笑顔が弾ける爽やかな季節の到来となりましたが、一方で現下の厳しい社会情勢を反映して就職活動を余儀なくされている市民がみられることを強く感じる昨今でもあります。

3月議会では、厳しい地方財政状況の中で平成22年度一般会計、特別会計および企業会計予算を全議員を委員とする予算特別委員会での慎重な審査等を行い、可決されました。

特に、児童数が毎年増加し、今後増加が見込まれる高宮小学校の増設工事や、施設老朽化等による生徒への安全確保等を期して、東中学校の改築工事が実施されることとなりました。将来を担う子ども達の安全で安心な学校生活を願うものです。

1年10カ月にわたって開催された「井伊徳と精田150年祭」は、海外や市内の観光客が多数来場され、成功裏の中で閉幕式典が行われました。市民の皆様のご協力とご協力に感謝申し上げますとともに、観光都市の根を盛り上げてくれた「ひこねちゃん」の今後の更なる活躍を期待したいと思います。